

同十二月十五日、学院で指導をいただいた里雄
康意宗務総長様をはじめ本山のご来賓ご臨席のも
と、新学会二階で竣工式が行われ、同窓会役員が
出席し、その席上、私から学院長に寄付目録をお
渡しいたしました。

内容は次の通りです。

目 録

- 一、金六二七万七六八八円
- 一、机二八台
- 一、椅子八四脚
- 一、教卓二台
- 一、教卓用椅子二脚

を、真宗学院学会竣工記念とし
て贈呈いたします。

なお、寄附金は今後の備品、書
籍等の購入に資する費用に充てて
くださるようお願い申し上げます。



1階研修室(教室)



2階研修室(教室)

寄贈した机、椅子、教卓



海老原学院長に寄贈目録を手渡す高垣会長

十二月二十日には、新学会にて公開セミナーが
あり、開設記念行事として鷹橋賢由先生が「呼応
の教育」と題して講演され、待ち望んだ新学会で
の学びがスタートしました。

最後になりましたが、「新学会建設募金事業」
が短期間のうちに円成でき、実行委員長として大
役を果たすことができたことは感謝の念に堪えま
せん。ひとえに事業の趣意を悉く御理解、賛同し
ていただいたことと、皆さまの学院の充実を願わ
れたご懇念に敬意を表し、この紙面を借り御礼申
し上げます。



里雄宗務総長、本山関係者も竣工式に来院されました

同窓生からの寄稿

いまいのちがあなたを生きている



上清水 信男

二〇〇四年卒 高山教区

Aさんは、事情があって幼い頃、両親と別れ、養護施設に入所することになり、現在もその施設で暮らしています。Aさんは他者との関係を結ぶことが苦手で、そのことでひきこもってしまうことがしばしばあるようです。

とりわけ活発に行動する同世代の男女と接するとパニックになり、部屋に閉じこもり、その後の回復に時間がかかります。Aさんは、小学校で行った稲作教室での私のことを憶えており（私は忘れていました）、田植えの思い出を話してくれました。

そんなAさんも十七歳になり、今年の三月から私の農場の作業実習に来ることになりました。人と接することが得意でないAさんにとって、農場

での作業は気に入っているようです。もともと細かい作業や一人ですることは苦にならず、ていねいにしてくれます。

Aさんはカエルが苦手です。草取りをしていると、カエルが、ビョーンと飛び跳ねるたびに「キャーッ」と大声を出しますが、決して逃げ出すことはありません。「そろそろー」と、また草取り作業を始めます。

休憩時間のAさんとの会話はとてもゆったりしています。単語を起し、声となり、言葉がつづられていき、私はAさんが話し終わるまでじっとその声に耳を傾け、相槌をうちます。しばらくして、また話し始めます。あっという間に休憩時間をオーバーしますが、私は何となく心が穏やかになります。呼び掛けた者と呼び掛けられる者が呼応する瞬間です。

Aさんは午前中の二時間しか作業できません。作業当日になって、「今朝は起きられないので休ませて下さい」と施設の職員さんから連絡があることも。休みがちですが、Aさんは頑張っています。

「いま、いのちがAさんを生きています」



総会に参加されたみなさん



音楽法要で営まれた第7回総会の追弔会

ともに歩む



筧 幸子

二〇一四年卒 大垣教区

大垣真宗学院で学べましたこと、私にとって生涯の最高のお宝を頂戴したご縁と有り難く思っております。

授業中不覚にも眠ってしまったり、ぼんやりして資料を忘れてたり等、勉強したい態度の生徒ではありませんでしたが、先生皆様は、一貫して親切であり、丁寧な態度で指導くださいました。

こうして振り返ってみますと、先生皆様は自坊での勤めをこなした上に、昼夜の授業その他諸々の為に心くだいてくださったことを思い出しました。特に卒業論文に対し、私などどれ程のご迷惑をおかけしたとか、本当に感謝してもしきれません。なのに卒業後の私など「学院に行って学びたい」の心はどうしたの、と反省することしきりです。

蓮如上人御一代記開書の中に「いかに文釋おぼえたりとも、信なくばいたずらことよ」とありますが、まったく恥ずかしいことです。

御聖人様は「弥陀の五劫思惟の願をよくよく案ずればひとえに親鸞一人がためなりけり。さればそくばくの業をもちける身にてありけるを、たすけんとおぼしめしたちける本願のかたじけなさよ」と阿弥陀様のお心を、ひざまづくかの如く受け取られ、畏敬の念をもって念仏いただくおすがた、私は人間はこうであらねばならない、これこそ最高のお姿として頂き、お念仏を申していく生活を願っています。

この聖人様の教えを、ひとつひとつ解りやすく説いて下さった先生方に「知識ではないですよ」としっかりと教わったことも心に残っています。大垣真宗学院は先生、生徒、共に歩んでいこうね！という校風が、去った後ジワリジワリと感じます。私が勝手に「校風」としたかもしれません。その点、お許し下さい。本当に有り難うございました。ますますの発展を願っています。



新学会玄関と同窓会寄贈の表札



総会後の懇親会の様子

同窓会からお知らせ

【第七回定期総会の報告】

◇高垣康平会長以下十三名の役員の新任、三名の新任をご承認いただきました。よろしくお願ひします。

役職、役員名は次の通りです。*印新任

会長 高垣 康平 一九八九卒 岐阜
副会長 児玉 俊雄 一九九六卒 大垣

小笠原まや 二〇〇五卒 岐阜

会計 杉原 光子 二〇〇八卒 大垣

稲葉 一成 二〇一〇卒 大垣

書記 傍島 仁美 一九九九卒 大垣

広報 佐藤 義成 一九七一卒 長浜

*大鹿 英彰 一九七一卒 長浜

三山 涼子 一九八七卒 長浜

林 文照 一九九〇卒 大垣

稲葉 厚子 一九九六卒 大垣

窪田 和枝 一九九九卒 高山

後藤 昭子 二〇〇五卒 岐阜

*鈴木 智顕 二〇一三卒 岐阜

*佐藤 幸次 二〇一四卒 三重

会計監査 海北 誓子 二〇〇七卒 長浜

堀 康子 二〇〇五卒 大垣

◇二〇一三年度の事業報告並びに会計報告、二〇一四年度の事業計画と予算案の承認をいただきました。

2013年度収支決算概要

収 入	前年度繰越金	1,970,743
	終身会費	290,000
	総会参加費	820,500
	助成金	209,500
	雑収入	15,280
収入計		3,306,023
支 出	会議費	150,949
	事業費	1,154,290
	事務運営費等	118,182
支出計		1,423,421
次年度繰越金		1,882,602

2014年度予算概要

収 入	前年度繰越金	1,882,602
	終身会費	200,000
	総会参加費	180,000
	利息	80
収入計		2,262,682
支 出	会議費	245,000
	事業費	80,000
	事務運営費等	124,000
支出計		449,000
次年度繰越金		1,813,682

◇永らく学院で仏教学の教鞭をとっていただき、昨年度で退任された福島光哉先生「大谷大名誉教授」から「経文と経意をめぐって」と題して特別講義をいただきました。



【同窓会上山奉仕団】

例年通り八月二十九―三十一日の三日間、学院の上山研修に合わせて上山しました。今回は、高

田教区真宗教化研鑽室長の井上円先生を講師に、「恵信尼消息から見える親鸞」のテーマで講義を受けました。



消息から読み取れる親鸞聖人と恵信尼公の生きとした姿を教えていただきました。本年度も上山奉仕団を企画します。詳細は総会とともにハガキにてご案内させていただきます。

第八回同窓会総会のご案内

本年六月六日(土)午後から新学会等で開催します。同窓生のみなさん、この機会に是非、新しい学舎の中を見学されませんか。これまでに同窓会が寄贈した学院の表札とホワイトボードも設置してあります。

ぜひご参加お待ちしております。